

【参考資料】「指導と評価の一体化」のための学習評価



資質・能力の三つの柱で再整理された観点別学習状況の評価



日高教育局では、今年度から小学校の新学習指導要領が全面実施になったことを踏まえ、学習評価について教職員が理解を深められるよう、平取町立二風谷小学校の取組を基にして「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を作成しました。各学校の校内研修等において、令和2年（2020年）2月6日付け教日第6780号通知「教育課程の適切な編成・実施について」の理解を深めるとともに、管内の小中学校での取組を参考に、自校の学習評価の充実を図ってください。

昨年度の通知表
(単元別評価)

国語	算数	数
進んで話し合い、文章を書いたり、発表したりすることができる。 細かい点にも注意して、話の要点を落とさず聞くことができる。 根拠を明らかにし、筋道を立てて話すことができる。 聞き手が内容をよく味わえるように朗読できる。 文章の叙述に即して、意図をつかみ、正確に読み取ることができる。 習った文字を正しく読むことができる。 習った文字を正しく書くことができる。 文の組み立てや、文と文の関係などを理解することができる。 全体構成や段落相互の関係を考慮して書くことができる。 硬筆で文字の形、大きさ、配列に注意して正しく書くことができる。 毛筆で文字の組み立て、字配りに注意して正しく書くことができる。	数量や図形の学習について、進んで調べたり考えたりすることができる。 2つの数量の関係を、文字を使って式に表すことができる。 線対称、点対称の図形の意味がわかり、作図することができる。 分数の乗法の意味がわかり、計算ができる。 分数の除法の意味がわかり、計算ができる。 速さの意味を理解し、速さや道のり、時間を求めることができる。 円の面積の求め方を理解し、計算ができる。 比例や反比例の考え方を理解し、式やグラフに表すことができる。 角柱や円柱の体積比の意味と表し方を理解し、式やグラフに表すことができる。	通知表における単元別学習状況の評価と指導要領の観点別学習状況の評価における考え方が違うため、児童、保護者にとって、自校の育成を目指す資質・能力が不明確にならないかな…。

ポイント①
学習評価の基本的な考え方

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。
 「児童生徒にどういった力が身に付いたのか」という学習の成果を的確に捉え、**教師が指導の改善を図るとともに児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするために**も、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることが求められています。

Before-After



ポイント②
カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価

「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図ります。

ポイント③
観点別学習状況の評価で再整理

学習指導要領に示す目標に照らして、その状況がどのようなものであるかを観点ごとに評価し、児童生徒の学習状況を分析的に捉えます。

学習評価の基本的な流れ

- (1) 目標と観点の趣旨との対応関係の作成 → 各学校の実態に応じて目標に準拠した評価であること
- (2) 内容のまとまりごとの評価規準の作成 → 整理した資質・能力をもとに構成
- (3) 評価の計画の作成 → 児童生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選
- (4) 観点別学習状況の評価に係る記録の総括 → 単元末、学期末、学年末等の節目で実施
- (5) 観点別学習状況の評価の評定への総括 → 教師間の共通理解に基づいた児童生徒及び保護者への十分な説明

自校で身に付けさせたい資質・能力と関連を図った通知表の作成

平取町立二風谷小学校の取組

学習の様子 ◎…よくできる ○…できる △…がんばろう

教科	観点	評価項目	1	2	3
国語	知識・技能	言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使っている。			
		姿勢、文字の形、筆順、点画に注意して、丁寧に書いている。			
	話す聞く	話の内容が明確になるように話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。また、話の内容を聞き取り、自分の考えと比べてまとめたり、考えを広げたりしている。			
思考・判断・表現	書く	感じたことや考えたことなどから書くことを選び、文章全体の構成や展開を考え、自分の考えが伝わるように書き方を工夫している。			
	読む	文章全体の構成や登場人物の関係、心情を文章や図などでとらえ、自分の考えをまとめたり広げたりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	思いや考えを広げながら、言葉がもつよさを認識し、言葉をもっとよく使おうとしている。			
社会	知識・技能	国土の地理的環境の特色や産業の現状などについて理解し、調査活動や資料を通して、必要な情報を調べまとめている。			
	思考・判断・表現	国土や産業の特色や相互の関連、社会に見られる課題を把握し、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを適切に表現したりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に問題解決しようとして、学習したことを社会生活に生かそうとしていたりしている。			
算数	知識・技能	数と計算の性質や意味、面積や体積、図形の意味と性質、速さや割合、グラフなどを理解し、計算をしたり、図形の性質を調べたり、面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	計算の仕方や図形、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、データの特徴に着目して的確に表し多面的に考察する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさに気づき、活用しようとしている。			

二風谷小における子どもたちに身に付けさせる資質・能力

- 生きて働く「知識・技能」の習得→**ワクワクしながら新たな知を求め力**
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成→**自ら考え、周りに伝え、改めて気付くことのできる力**
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養→**様々な支えのもとで学べることに感謝し、それを体現できる力**

ポイント④
本校の「児童に付けたい力」を教職員で共有

学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、自校で育成を目指す資質・能力を明確にした各教科における観点別学習状況の評価の観点を作成する必要があります。

学習評価の在り方ハンドブック (文部科学省)

学習評価の基本構造

平成29年改訂で、学習指導要領の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には
 ①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価(学習状況を分析的に捉える)を通じて見取することができる。
 ②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。

各教科における評価の基本構造

